

第33回 全国中学校バスケットボール大会

輝く瞳 燃える情熱 ~若人の夢 この北の大地に~

【試合結果】

男子		決勝トーナメント(2回戦)	
日時	平成15年8月 23日 (土)		16:10 ~
会場	北海道立総合体育センター(きたえーる)		Bコート 第6試合
結果	長成	6 - 4	鳥屋野
	(山口)	14 - 14	
	42	10 - 10	
		7 - 9	
		5 - 6	
主審	大家 一 (広島)	副審	田 哲義 (北海道)

【個人トータル表】

長成(山口)						
	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
4	三池 将隆	23	0	10	3	3
5	大深 聡	2	0	1	0	4
6	一丸 智史	0	0	0	0	0
7	大久保 学	7	0	2	3	1
8	岸田 卓也	8	2	1	0	0
9	中村 浩之					
10	荒川 宣幸					
11	植木 司					
12	田中 雄大					
13	野崎 脩					
14	福本 真也					
15	津留崎 一真					
16	高野 大志	2	0	1	0	1
17	前村 明宏					
18	竹中 隼也					
	合計	42	2	15	6	9

鳥屋野(新潟)						
	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
4	熊倉 祐人	20	0	9	2	0
5	大高 頌平					
6	相川 翔					
7	堀川 拓海	0	0	0	0	0
8	押見 幸一	2	0	1	0	1
9	土田 賢大	7	1	2	0	0
10	岡田 侑也	12	0	5	2	4
11	庭山 翔平					
12	内藤 潤一	2	0	1	0	5
13	大滝 俊也					
14	中川 佑哉					
15	花澤 佑太	0	0	0	0	0
16	伊藤 慎二					
17	西脇 宏輝					
18	高橋 駿平					
	合計	43	1	18	4	10

【戦評】

地区ブロック、予選リーグともに1位で勝ち上がり、決勝トーナメント1回戦も順当に勝った長成中と鳥屋野中の対戦。ベスト4をかけての熱戦が期待される。

1クォーター、長成中はハーフコートマンツーマンディフェンス、鳥屋野中は2-3ゾーンディフェンスでスタートする。長成中はゾーンに対して、パスを回し時間をかけてオフェンスを組み立てるが、無理なシュートが目立つ。一方の鳥屋野中はゾーンから速い展開を目指す、長成中の堅いディフェンスにはばまれる。ともに相手のディフェンスを崩すことができず、6-4長成中リードで終了する。

2クォーター、長成中#4三池のスティールからのドリブルシュートで得点をあげるが、またその後得点が入らず。2分過ぎから、長成中は#4三池のジャンプシュート、#8岸田の3Pが決まる。また、鳥屋野中も#4熊倉のジャンプシュートや#10岡田のゴール下シュートなどが決まり、得点が入り始めた。結局20-18長成中リードのまま前半終了する。

3クォーター、鳥屋野中は2-2-1ゾーンプレスに変えるが、長成中は#5大深や#7大久保がリバウンドシュートを確実に決める。鳥屋野中も#4熊倉のカットインやジャンプシュートを決め、点差は2点のまま終了。

4クォーターに入り、鳥屋野中はボックスアンドワンで長成中#4三池を徹底マークするが、#7大久保や#16高野がしっかりとジャンプシュートを決める。鳥屋野中も#10岡田や#9土田が得点し、#4熊倉のシュートで37-37の同点。残り20秒で両チーム1回ずつオフェンスを失敗し延長に。

延長に入り、長成中は#4三池が激しいマークをはずしジャンプシュートを決める。鳥屋野中も#4熊倉や#9土田が得点をあげ、最後は#4熊倉がフリースローを確実に決めて接戦をものにした。

長成中は時間をかけたオフェンスでロースコアの試合に持ち込んだが、一歩およばなかった。白熱したとても素晴らしい戦だった。鳥屋野中の準決勝での活躍を祈るとともに長成中の健闘を祈りたい。

奈良 浩(札幌手稲西)

【トーナメント戦績】

